

今日から2学期が始まりました。7月の終業式から約1か月が過ぎ、校長室で聞こえる蝉の鳴き声が確実に変わりました。これからも残暑で暑い日もあると思いますが、秋が近づいていることを日常生活で感じます。

1か月前から8月上旬まで酷暑で高温の日が続きましたが、中旬から一転して不安定な天候が続いており、夏の全国高校野球選手権大会は6度も天候不良により大会が順延されるなど、例年になく大会となっていますが、すでに8月の下旬になってしまいました。あっという間に夏休みが過ぎてしまったと感じている皆さんも多くいると思います。

これまで夏休み中に私が見た中で、皆さんに紹介したい出来事を3つ紹介したいと思います。

まず、夏休み早々の7月22日から7月25日までの4連休に「100人で学習会」という進路の先生方による呼びかけに、初日から100人あまりの生徒が参加してスタートできたことに、夏休みにギアを上げた3年生の「やる気」を感じることができました。少し背中を押してくれた一言により行動した小さな積み重ねが、今後の大きな成果につながることを願っています。

2つ目は、先ほどの称賛式で紹介されましたが、全国高等学校総合体育大会、いわゆるインターハイで陸上競技部の世良柚実乃さんが三段跳びで第2位の成績を収めました。淡々と表彰伝達をしましたが、この成績はまさに周囲の皆さんから賞賛される立派な成績です。改めておめでとうございます。皆さんには、日本のトップレベルの高校生が、自分と同じ学校のすぐ近くにいることで全国水準のレベルも特別な遠い存在ではなく、実現可能なこととして理解してもらいたいと思います。現実には、厳しいということも十分理解できますが、目標設定の考え方として、挑戦する気持ちが大切であることを身近な出来事から学んで欲しいと思います。

3つ目に、和歌山県で開催された全国高等学校総合文化祭に「吟詠剣詩舞部」が県代表として出場してくれましたが、学校に帰った後、部員の皆さんから校長室と事務室の間にあるホワイトボードの一角に「全国大会、今までで一番いい舞ができました。応援ありがとうございました。」と書かれていました。このような地味な挨拶ではありますが、感謝の気持ちを表現できることが、1学期終業式で話したように、校訓「文・武・心」の「心」を磨き、自らを成長させ、豊かな心を持つことにつながることを思っています。

2学期は、体育大会や文化祭などの大きな学校行事から始まります。北高生として3年生を中心に皆さんのエネルギーを集結して大きな力として表現できる場で

す。一人一人が自分の責任をしっかりと果たし、互いに協力しながらコロナ禍の様々な制約の中で、できる限りの準備をしてほしいと思います。

北高のグループやクラスなど、仲間とともに創り上げていく良き伝統を先輩から後輩へしっかりと繋いでもらいたいと思います。特にコロナ禍においては、人と人とのつながりが断ち切られています。1, 2年生はしっかりと自分の目で見て、汗を流しながら体験し、苦勞して、3年生の思いを受け継いで欲しいと思います。

3年生は、1学期末にあと6か月後の話をしました。もう5か月になりました。皆さんそれぞれの事情に関係なく、受験は迫ってきます。皆さんの周りには、担任の先生はじめ、3年生をサポートし、頼りになる先生方が支えています。学校行事の活動も「文武両道」の一つです。結果が出る頃に厳しい現実が見えていても、自分で受け入れるしかありません。行事も受験の準備もどちらも大切です。北高生らしく高いレベルの実践を期待しています。

皆さんには、昨年以上に様々な制約がある中で厳しい取り組みが求められています。私は、北高生としての皆さんの潜在的な力はまだまだ十分に発揮されていないと思いますので、いい意味で私たちの期待を裏切る活動を見せてくれると信じています。今後もさらに厳しい状況になるかもしれませんが、想定外にならないよう想像力を働かせて、みんなで乗り越えていきましょう。

皆さんに先生の異動について、お伝えします。

109HR副担任、教科「情報」と「数学」のご担当をされてました

上田椎士（うえだ しいと）先生は、ご病気のため一学期の途中からお休みをされておりましたが、この度、ご自身の都合により、ご退職されましたので、ご報告します。

そこで、二学期からの109HR副担任は、現在学年主任の高石久美先生が担当されます。

また、上田先生が担当されていた「情報」は、お二人の先生に担当していただくことになりましたので、お名前の紹介をさせていただきます。

作道 茂 先生

上野 治紀 先生

のお二人に担当していただきます。

お二人の先生には、明日からご指導いただくこととなります。

以上、先生の異動について、報告と紹介でした。